

## 第3WG 評価コメント

### 評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

#### 事業番号3-39 科学技術振興調整費

#### (女性研究者支援システム改革)

費用は実験補助者、助手の雇用、カウンセラーや保育士・看護師の雇用に限定し、保育機能は地域住民にも開放するべき。終了時期を明記。

保育所の設置に限定するなら良いが、研究費は余分。何でも競争的資金とするのはいかがか。

両立のための環境整備のメニューの中身の見直しを。ポピュラーなものに絞るべき(研究費、学会参加費、カウンセラー等はカット)。

女性研究者の伸びは必要なので、支援は重要だ。研究費をつけるという支援の仕方はいけない。

保育所などは良いかもしれないが、女性研究者に過大な補助金を与えるのは逆差別になりかねない。

環境整備に限定し、かつ5年に限定して削減の上で対応すべき。

女性研究者を支援する環境整備について評価できる。直接的な人件費については正職員のみに限るという原則を守っていただきたい。また支援期間(サンセット、終期)を明確にする。

大学研究機関に対してインセンティブ効果があると認められる。期限を区切って、成果に数値目標を入れていない点が評価できる。

事業内容の見直しが必要であれば、フレキシブルに対応することが望ましい。

## WGの評価結果

### 科学技術研究者支援システム改革 (女性研究者支援システム改革)

#### 予算要求の縮減(1/3程度)

(予算要求の縮減 6名(半額 3名、1/3縮減 2名、2割縮減 1名)、予算要求通り 3名)

## とりまとめコメント

---

集計の結果、予算要求通りが3名、予算要求の縮減が6名となり、縮減の内訳は、半額3名、1/3程度縮減が2名、2割縮減が2名であった。予算は環境整備に限定し、研究費等の支出は不要ではないのかというコメントが寄せられた。半額縮減が多数ではあるが、予算要求通りとした方も3名いるので、間を取って1/3程度の縮減を結論とする。